

ズクだせ！ 信州

第34回日本高齢者大会inながの



(北アルプス・剱岳)

中央現地実行委員会

委員長 高橋 淳 日本医療福祉生協連会長理事
事務局長 武市和彦 日本高齢期運動連絡会事務局長

現地実行委員会

委員長 山口光昭 長野県高齢期運動連絡会会長
事務局長 林 晃生 長野県高齢期運動連絡会事務局長

新たな形態の“日本高齢者大会inながの”を
全国と県民のみなさんの理解と共同で
成功させましよう

現地実行委員長 山口光昭

新型コロナウイルスの感染拡大で、日本高齢者大会inながの”は1年間延期され、今年9月23日に実施することが、中央並びに長野県の実行委員会です正式に決定されました。菅政権による3回目の緊急事態宣言が出されましたが、コロナ収束の見通しは立っていません。高齢者大会の全体会及び学習分科会の形態と規模を大幅に縮小し、全国からの参加をWEBに、長野県内からの参加者数を250人としました。会場は、「JA長野県ビル」に変更し、全体会(アクティビティホール)と分科会(会議室)を同じビル内で参加出来るようにしました。形態の上での大きな変更点は、全体会と分科会をオンラインで結び、という新しい試みです。これまで33回にわたり全国的に積み重

ねてきた実行委員会の経験と実績を、形態が変更されてもこれまで以上に生かしたいと考えています。現地実行委員会のみなさんは、必ずしもWEBなどの設定に精熟しているわけではありませんが、これまで13回(6/15現在)にわたり実行委員会を重ねて来ましたが、万全を期して終盤の追い込みを図りたいと思います。“inながの”まで後3ヶ月余となりました。日本高齢者大会の新機軸を、長野から全国に発信する、新たな決意を持って頑張っていきたいと思います。先の衆参補・再選挙では、北海道や広島県と共に、長野県でも市民と野党の共闘の力で、新人羽田次郎さんが大差をつけて勝利し、菅政権退陣へ大きな狼煙を発信しました。

新型コロナウイルスに負けない、元気いっばいの高齢者が大勢集い、政治転換の足がかりとなる高齢者大会となるよう、お互い頑張りましよう。



第34回日本高齢者大会inながの
9月23日(水・祭日)10:00~16:00

長野市 JA長野県ビル

◆ 午前:全体会・記念講演など

講師:中野晃一氏

(政治学者、上智大教授)

◆ 午後:5 学習分科会

参加費:1日2,000円、半日1,000円

長野県内は会場参加、県外はWEB参加